おおたか静流（ヴォイスアーティスト） with 藤本 隆行（照明アーティスト） くらやみ美術館

会期	2016年3月29日［火］–5月8日［日］ ※3月26日（土）・3月27日（日）は予約制オープニングイベント（二人のパフォーマンスと展覧会の一部の鑑賞）を開催いたします
開館時間	10：00–17：00（土日祝は延長あり・入場は閉館の30分前まで）
休館日	月曜（月曜日が祝日の場合、翌平日）
料金	一般＝600円（500円）、シニア（65歳以上）・大高生＝500円(400円)、中学生以下＝無料　※（）内は団体料金。障害者手帳をお持ちの方とその付添者（1名）は無料。 上記料金で入館当日に限り、同時開催常設展もご覧いただけます。
主催	市原湖畔美術館　［指定管理者：株式会社アートフロントギャラリー］
協賛・協力	旭硝子(株)千葉工場、(株)佐藤卓デザイン事務所、sonihouse、(有)タマ・テック・ラボ、社会福祉法人 友愛学園

「Under the Camphor tree」 徳島LEDアートフェスティバル　2013

展覧会概要

7色の声を自在に操り、ノンジャンルの独自の音楽世界を創り上げてきたヴォイス・アーティスト、おおたか静流。NHK　Eテレ「にほんごであそぼ」への出演から、世界各地でのグローバルな音楽活動、そして絵本創作まで、多彩な活動を繰り広げるおおたかが、アーティストグループ「ダムタイプ」のメンバーとして日本のマルチメディア・パフォーマンスを先導してきた照明アーティスト、藤本隆行とともに、新たな表現世界に挑みます。

「くらやみ美術館」は、おおたかが表現活動のテーマとする「光と影（Light & Shadow）」の世界観を、美術館を舞台に「声」と「光」によって現出するプロジェクトです。「くらやみ」から光が生まれ、光と影が分かち合う―、「生と死」あるいは「内と外」が表裏一体としてあるこの世界を、ひとはどのように感じ、生きているのでしょうか。

そんなおおたかのメッセージを、美しい歌声と幻想的な光の演出を通じて伝えます。カタチのない世界を表現する二人のコラボレーションによる、これまで体験したことがない展覧会を、お楽しみください。

ステートメント「くらやみ美術館によせて…」

わたしたちは、
どこから来てどこへ行くのでしょう？

懐かしい母の胎内・・・・
その暗闇は、温かく神秘に満ちていたでしょう。

闇から抜け出すと、全てのものが光と影を分かち合っていることを知るのでした。
生と死が隣り合わせながら、日々愛おしい命の営みを歌っていることに息をのみながら。

声が光に出逢う・・・

尊い闇の世界から滑り出て、ある日未知の扉を開けたことを振り返り、
いま再び地上の光に出逢う旅をしたいと思います。

脈々と続く命の連鎖に背中を押され、
かすかな産声が、
ちいさな光に寄り添って歩き始めた、
あの日に向かって。

おおたか静流

（Photo:小沢芳彦）

展覧会の見どころ

1. 第一線で活躍するアーティストたちが、新作で挑む初の美術展

舞台芸術の世界で、第一線で活躍し続けるアーティスト二人が、市原湖畔美術館の展覧会場で、声と光を駆使した究極のアートに挑みます。

2. 心地良い空間で、声と光の響きをゆったりと鑑賞

8mの吹き抜けのある展示空間全体に、生命を連想させるオブジェをちりばめた大規模なインスタレーション作品に注目。「生と死」をテーマに、おおたか静流の歌声が空間全体に響き、藤本隆行の光の演出とともに、コンサートホールにいるかのような感覚で展覧会を楽しめます。

3. 待望のパフォーマンス公演

2013年にMINAMATAアートミーティング／徳島LEDアートフェスティバルで好評を博したおおたか静流と藤本隆行による共演。本展オープニングをかざるのは、2人のパフォーマンス公演です。「くらやみ美術館」展覧会会場内を舞台に、「光と影」をテーマとした公演を2日間限定で開催します。また、5月8日（日）には、展覧会最終幕を、アカペラコンサートで飾ります。

関連イベント

1. オープニングイベント『Light & Shadow』

3月26日（土）17:00－18:30／3月27日（日）14:00－15:30
出演：おおたか静流、照明／演出：藤本 隆行
光と影をテーマにした、2日間限定の展覧会開催記念パフォーマンス。高さ8mの展覧会場が舞台となります。

2. ワークショップ『お背中音頭』　親子での参加大歓迎！

4月17日（日）／4月29日（金・祝）　14:00－16:00
光と影、生と死のなど、「背中合わせの表裏一体の関係」を体感するために、おおたか静流が考案した「お背中人形」ワークショップです。おおたか静流の新譜「お背中音頭」を、一緒に歌って、踊って楽しみます。

3.『くらやみコンサート』

5月8日（日）18:45－19:30
出演：おおたか静流、照明／演出：藤本 隆行
展覧会のクロージングを飾る、幻想的なアカペラコンサート。

作家
プロフィール

（Photo: 小沢芳彦）

おおたか静流（おおたか・しずる）

東京都出身。7歳よりクラシックの声楽家に師事。その後、Jazz、民族音楽の洗礼を受け現在のノンジャンルに至る。これまでにオリジナルアルバムを21枚リリース、映像、絵画、朗読、ダンスとのコラボレーション等、ジャンルや国境を越えた音楽活動を展開している。即興のワークショップ「声のお絵描き」を主宰。

－主な活動－

[テレビ番組]

NHK　Eテレ「にほんごであそぼ」にレギュラー出演（2003年～）

[CMソング・映像音楽]

花～すべての人の心に花を～（1990年）- AXIACMソング

悲しくてやりきれない（1992）- 映画「シコふんじゃった。」挿入歌

「神々様」-映画「千と千尋の神隠し」イメージソング（2001年）

[絵本]

トペラトト：おもいでをたべるオバケのはなし　田島 征三と共著　（2015年）

藤本 隆行（ふじもと・たかゆき）

アーティストグループ「dumb type」のメンバーとして、主に照明とテクニカル・マネージメントを担当。2007年には個人の活動として、「脳」に関する考察をもとに、ＬＥＤ照明を含めたデジタル機器と身体の同期に焦点を当てた有機的な舞台作品「true/本当のこと」を発表。最近では、ＬＥＤを使い、古典芸能の「能」の照明演出にも取り組むなど、パフォーマンスのディレクションから能舞台の照明デザインまで、国内外で幅広く活躍中。

オフィシャルページ：http://kinsei.asia

近年の代表作

（左）[藤本隆行×白井剛　Node／砂漠の老人]2013年～　世界ツアー

企画＋ディレクション／照明＋舞台デザイン

（右）[Time Lapse Plant]　2009年～　横浜BankART 1929，第２回恵比寿映像祭、スマートイルミネーション横浜 2013、LUX HELSINKI 2015　ディレクション／照明＋空間デザイン

広報用画像

「Under the Camphor tree」
徳島LEDアートフェスティバル　2013年

「くらやみコンサート」　市原湖畔美術館　2015年

「お背中音頭」　市原湖畔美術館　2015年

アクセス

所在地：〒290-0554　千葉県市原市不入75-1
電車で：JR 内房線五井駅乗り換え　小湊鉄道「高滝」駅より徒歩20分又はバスで4分
お車で：圏央道「市原鶴舞IC」より約5分
高速バスで：東京駅・羽田空港・横浜駅より約1時間
（市原鶴舞バスターミナル経由、路線バス利用　約5分）

広報についてのお問い合わせ

市原湖畔美術館　　担当：石井・渡辺
tel: 0436-98-1525　fax:0436-98-1521
event@lsm-ichihara.jp　http://lsm-ichihara.jp